

当院で診断された卵巣癌、子宮体癌患者に対する術後化学療法中の CT評価時期に関する後方視的検討

1. 研究の対象

1983年1月～2017年12月の間に、当院で卵巣癌または子宮体癌と診断された患者さんを対象とした研究です。

2. 研究目的・方法

卵巣癌、子宮体癌に対する治療は、手術および化学療法を組み合わせた治療が主体で、術後のCT評価は再発および治療効果判定に必要な情報を得るための有用な手段です。現状では、標準治療の根拠となるような大規模研究におけるCT撮影間隔を参考とし、術後化学療法の3コースおきに全身CTを撮影していますが、CT撮影には被爆、造影剤腎症、アレルギーなどの潜在的リスクがあり、コスト面からもその必要性について明らかにする必要があります。そこで、これまで当院で治療をおこなった卵巣癌、子宮体癌の患者さんを対象として治療経過などの振り返りを行い、適切なCT評価間隔やその意義について明らかにすることを目的としました。研究期間は学校長承認後から平成35年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、カルテ番号 等

試料：病理検体、採血検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話：04-2995-1511（内線2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：防衛医科大学校 産科婦人科 講師 宮本守員